

東紀州地域からの学び

教職大学院で複式学級について研究している紀北町出身の院生が、母校で実習をしました。また、複式学級指導の取組の実績がある熊野市の小学校の校長先生にお話を伺いました。東紀州地域から多くを学ばせていただいています。

大学院生が体験実習をさせていただきました！～紀北町立船津小学校～



私は教職大学院 学校経営力開発コース2年の水谷響です。学部3年時にはコロナ禍の影響で対面での教育実習ではなく、オンラインでの代替実習になり残念でした。今回、5月末から6月にかけて、母校である紀北町立船津小学校へ教育実習に行かせていただくことができ感謝しています。

私は、大学院で複式学級のわたり授業について研究をしています。しかし、実際にわたり授業をするのは初めてだったので、実習中は毎日が学びの連続でした。実習を通して、自主的に学ぶ子どもの育成や異学年交流がしやすいといった、わたり授業ならではの“よさ”を体験することができました。また、プログラミングの授業もさせていただきました。子ども一人ではつくるのが難しいプログラムも、皆で協力して試行錯誤することで作ることができました。わからない所があると、上級生が下級生に優しく教えてあげるといった姿も見られ、2学年が1つの教室で学んでいる複式学級ならではの“よさ”だと感じました。今回の実習での学びをいかして、今後も複式学級の魅力を多くの人に伝える研究を続けていきます。

複式学級指導等について伺いました！～熊野市立五郷小学校～

現在、熊野市内の8小学校中、4校で複式学級での授業が展開されており、五郷小学校もそのうちの1校です。今回、五郷小学校の濱野修二校長先生に複式学級での授業づくりなどについてお話を聞かせていただきました。五郷小は全校児童19名で、市の移住施策により、全国各地から転校生を受け入れておられます。また、コミュニティースクールとして、町ぐるみで五郷（地域）学習を推進し、ふるさと創生教育の充実を図り、「豊かな心と一人ひとりの学力を育む」教育活動を進めておられます。

子どもの思考をゆさぶる手立てとして、昨年度の授業記録（ノート）から昨年度の子どもの考えを紹介することが効果的であると考えます。

特に算数のわたりの授業では、異学年の同じ領域の学習内容を組み合わせることを検討していく予定です。

複式学級における主体的・対話的で深い学びのために

間接指導の子どもの声を、どのように捉えるかが課題です。

一対一での学習においては、キャラクターを登場させて、キャラクターと共に学び合う手立てを講じています。

一時間の予定を書いて、学習リーダーが中心となり、見通しを持って自力学習及び共同学習ができるようにしています。

ありがとうございました！

地域学習「尾鷲高校まちいく」についてお伝えします！

「尾鷲高校まちいく」は、尾鷲市・紀北町・尾鷲高校・三重大学の連携事業として、様々な組織や関係者などと連携協働し地域づくりの人材を育成する取組で、今年度で9年目。尾鷲高校普通科2年生全員3クラス88名が地域課題(ミッション)の解決策を探るプログラムを年間を通じ実施します。

三重大学では地域イノベーション研究科とみえの未来図共創機構、教育学部の市川俊輔准教授が関わり、高校生のサポート役として将来教員を目指す南部地域出身の三重大学生も参画します。本年は5月30日に初回が行われ、今後、尾鷲市と紀北町のテーマで班に分かれ、取組を進める予定です。

今年度高校生が取り組むミッション

○尾鷲市・・・「来年度に世界遺産登録20周年を迎える今、身近にある熊野古道を見つめなおし、後世へつなぐ持続的な保全と観光資源としての活用を考える」



○紀北町・・・「魚まちの新たな魅力発掘による活性化」。



「まちいく」プログラムの流れイメージ



新スタッフを紹介します



教授
宮岡邦任

5年ぶりに、伊勢志摩サテライト担当から東紀州サテライト担当として戻って参りました。東紀州教育学舎の発足以降、おかげさまで地域の課題に対応できる人材の研修、教材開発をはじめとした研究活動では、着実な実績を積むことができております。三重大学のサテライト活動については、昨年度より新たなフェーズに入っております。東紀州で培った成果を全県に展開するとともに、東紀州ではさらに発展的に活動を行うことで、学部・研究科における人材育成と社会貢献を図っていく所存です。引き続き、東紀州教育学舎の活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。



特任教授
山本 潔

4月に教育学研究科教職実践高度化専攻(教職大学院)の実務家教員として着任しました山本潔(やまもと きよし)です。私は、公立中学校及び附属中学校の教諭、指導主事、教頭、校長を務めて定年退職した後、附属中学校で副校長を務めました。これまで東紀州地域での勤務経験はございませんが、津市内の沿岸部の学校や中山間地域の小規模校等での実践経験を生かして、東紀州学舎に係る業務を進めて参りたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

連絡 お願い



- ①動画で知る東紀州教育学舎」公開中！
どうぞご覧ください。
- ②「新教育学舎にお越しの際は、熊野有馬郵便局西側の専用駐車場をご利用ください。□□□□
- ③研修や出前授業等に、撮影をさせていただくことがあります。どうかご協力ください。□□



三重大学
MIE UNIVERSITY

東紀州サテライト

東紀州教育学舎

<新住所> 〒519-4325
三重県熊野市有馬町 530
(熊野市立有馬小学校第2棟2階)
tel: 080-2446-7345
mail: edu-hksat@edu.mie-u.ac.jp
◎東紀州教育学舎長: 伊藤信成
○宮岡邦任 須曾野仁志 小山和彦
大野恵理 萩野真紀 山本潔